

6.図書館のあゆみ

	図書館のうごき	市民のとりくみ
昭和20年 (1945年)	3月 豊中市立図書館開館（市役所内に併設）	
昭和22年 (1947年)	10月 桜塚元町に独立開館（現在の福祉会館の場所）	
昭和23年 (1948年)	4月 G.H.Q.のC.I.E.（民間情報教育局）図書室を併設	
昭和24年 (1949年)	4月 個人館外貸出開始	
昭和25年 (1950年)	5月 動く図書館による巡回貸出開始 7月 図書館条例制定 9月 図書館規則制定、図書館協議会発足	
昭和27年 (1952年)	9月 大阪アメリカ文化センター豊中分館併設（C.I.E.図書室廃止）	
昭和29年 (1954年)	10月 動く図書館運行開始（昭和36年10月「とよ1号」と命名）	
昭和30年 (1955年)	5月 10周年記念行事開催	
昭和33年 (1958年)	9月 大阪アメリカ文化センター豊中分館閉鎖 10月 岡町北5-12（現在の岡町図書館所在地）に移転、一部開館 11月 閲覧室開室	
昭和34年 (1959年)	1月 施設改修完了、全面開館 7月 こども室開設	
昭和35年 (1960年)	1月 こども室貸出開始 12月	「動く図書館利用者の会」発足（昭和53年4月に「図書館利用者の会」となる）
昭和36年 (1961年)	10月 動く図書館「とよ2号」運行開始 11月 貸出文庫開始	
昭和37年 (1962年)	12月	「動く図書館利用者の会」が豊中市議会に「豊中市南部地区に図書館を設立することについて請願」を提出、採択
昭和38年 (1963年)	2月 11月	「とよ読書会」発足 「動く図書館利用者の会」が図書館設置及び動く図書館更新について陳情書提出
昭和40年 (1965年)	10月 20周年記念行事開催	
昭和41年 (1966年)	5月 8月	豊中市議会に「豊中市立図書館の改築に関する請願について」が提出され、翌月採択 「豊中読書会」発足
昭和42年 (1967年)	11月	第1回豊中・東大阪交歓読書会開催（現在継続中）
昭和43年 (1968年)	8月 蛭池分室開設（旧蛭池公民館内・後にほたる図書室に改称）	
昭和44年 (1969年)	2月 新館建設工事着工 10月 新館第1期工事完成	
昭和46年 (1971年)	2月	「子どもの本を読む会」発足（5月から「豊中子ども文庫連絡会（以下「豊子連」）」となる）
昭和47年 (1972年)	6月 8月 新館第2期工事着工 7福子ども図書室開室 9月	「千里（豊中地区）に図書館をつくる会」発足 「新千里西町の自治会連合協議会」が、図書館設置に関する陳情書を市に提出 「千里（豊中地区）に図書館をつくる会」が約1万7千人の署名とともに、豊中市議会に「豊中新千里地区図書館設置に関する請願書」を提出、翌月採択
昭和48年 (1973年)	3月 7月 新館第2期工事完成 8月 障害者サービス（対面朗読）開始 12月 団体貸出室開設	柴原子ども文庫開設 「千里（豊中地区）に図書館をつくる会」が、千里図書館（仮称）建設についてお願いを提出
昭和49年 (1974年)	6月 庄内図書館（庄内文化センター）工事着工 8月 小曽根分室開設（小曽根センター内・後におそね図書室に改称） 12月 労働会館内図書室開室	
昭和50年 (1975年)	3月 七福子ども図書室閉室 5月 柴原分室開設（柴原会館内・後にしばはら図書室に改称） 6月 労働会館内図書室閉室 7月 庄内図書館開館・従来の市立図書館を岡町図書館に改称 9月 岡町図書館に点字図書コーナー開設 10月 30周年記念行事開催	「そよ風文庫」活動場所確保の陳情始める 「そよ風文庫をそだてる会」発足
昭和51年 (1976年)		「豊子連」が「子どもと本のつどい」開催（昭和61年より図書館との共催事業となる。現在継続中）

	図書館のうごき	市民のとりくみ
昭和51年 (1976年)	11月	「そよ風文庫をそだてる会」要望書提出
昭和52年 (1977年)	1月 千里図書館(千里文化センター(仮称))建設 工事着工 2月 千里図書館準備室設置	「豊中市立大池小学校PTA」が蛸池地区市立図書館設置について陳情書提出 「豊子連」文庫活動援助金要望
昭和53年 (1978年)	4月 千里図書館開館 5月 点字図書貸出開始 8月 連絡車運行開始 11月 学級文庫へ配本開始	「豊子連」陳情書提出(活動費支援・場所) 「そよ風文庫をそだてる会」要望書提出 「豊子連」が社会教育関係団体となる。
昭和54年 (1979年)		
昭和55年 (1980年)	4月 郵送・宅配貸出開始 「豊子連」に補助金を交付 「文庫活動育成推進協議会」発足 9月 声の図書(現在の音訳図書)の貸出開始 10月 11月	「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が文庫支援に関する要望書を提出 「豊子連」が文庫支援に関する要望書提出
昭和56年 (1981年)	2月 図書館協議会「図書館システムを完成させるための長期計画について」答申 7月 「子どもと本のまつり」開催(現在も継続中) 10月 「児童文化講座」開催(平成5年より「おはなしボランティア講座」へ、現在も継続中)	「豊子連」と図書館が「子どもと本のまつり」を共催(現在も継続中) 「豊子連」が文庫への支援、4館構想に関する要望書を提出 「そよ風文庫をそだてる会」要望書提出
昭和57年 (1982年)	1月 「子どもへの語りかけ入門講座」開催(平成4年より「出前講座」へ、現在も継続中) 10月 12月 庄内図書館でレコード貸出開始	「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が文庫支援に関する要望書提出 「豊子連」が文庫への支援、読書環境の充実、土日開館に関する要望書提出
昭和58年 (1983年)	10月 11月 千里図書館でカセットテープ貸出開始	「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が文庫支援に関する要望書提出 「豊子連」が文庫への支援、土日開館、図書室増設等に関する要望書提出
昭和59年 (1984年)	4月 図書館協議会「答申の具体化方策としての学校施設(空き教室)等の活用について」提言 10月 11月	「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が文庫支援に関する要望書提出 「豊子連」が文庫への支援、土日開館、図書室増設、バリアフリー等に関する要望書提出
昭和60年 (1985年)	10月 40周年記念行事開催 11月	「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が要望書提出 「豊子連」が文庫への支援、土日開館、図書室増設、バリアフリー等に関する要望書提出
昭和61年 (1986年)	2月 4月 日曜全日開館(第1,2,4日曜)、夜間貸出開始(貸出室) 7月 いぶき図書室開設(青年の家いぶき内) 9月 (仮称)北部図書館(現在の野畑図書館)開館準備室設置 10月 図書館協議会「北部図書館にかかる建築計画大綱について」(建議) 11月	「身近にとしょかんがほしい会」が発足、北部地域図書館新設について陳情書提出 「身近にとしょかんがほしい会」北部地域図書館設置について要望書提出 「身近にとしょかんがほしい会」北部地域図書館建設について陳情書・要望書提出 「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が文庫支援に関する要望書提出 「豊子連」が文庫への支援、土日開館、図書室増設、バリアフリー等に関する要望書提出
昭和62年 (1987年)	2月 6月 (仮称)北部図書館建設工事着工 8月 10月	「身近にとしょかんがほしい会」が北部地域図書館の備品等について要望書提出 「身近にとしょかんがほしい会」が北部地域図書館の運営について要望書提出 「豊子連」が文庫への支援、土日開館等、図書館サービス充実に関する要望書提出 「そよ風文庫をそだてる会」要望書提出
昭和63年 (1988年)	6月 野畑図書館開館(コンピュータシステム運用開始) 野畑図書館でCDの貸出開始 8月 日曜全日開館(全週開館、嘱託職員採用) 10月	「そよ風文庫をそだてる会」要望書提出

	図書館のうごき	市民のとりくみ
平成元年 (1989年)	10月 11月 千里図書館コンピュータシステム導入 (千里・野畑オンライン開始) 庄内図書館でCD貸出開始	「豊子連」が文庫支援、図書館サービスの向上、学校司書に関する要望書提出 「そよ風文庫をそだてる会」 要望書提出 「どうしても図書館が欲しい会」 (東豊中図書館) 発足
平成2年 (1990年)	3月 5月 9月 10月 図書館協議会「豊中市における図書館施設計画について」提言	「豊子連」が文庫支援、図書館サービスの向上、学校司書に関する要望書提出 「どうしても図書館が欲しい会」が図書館増設について陳情書提出 「どうしても図書館が欲しい会」が図書館設置について要望書提出 「豊子連」が岡町図書館改修に関するお願い提出
平成3年 (1991年)	2月 「お話し指導者派遣事業 (出前お話し会) 開始 (現在も継続中)」 3月 「対面朗読講座」実施 6月 7月 岡町図書館大改修による休館 9月 (仮称) 東豊中図書館工事着工 10月 (仮称) 東豊中図書館準備委員会設置 11月 庄内図書館コンピュータシステム導入 (庄内・千里・野畑間オンライン開始)	「どうしても図書館が欲しい会」が (仮称) 千里図書館東豊中分館設置に関する要望書提出 対面朗読グループ『ヴォイス』結成 「そよ風文庫・そよ風文庫をそだてる会」が文庫支援に関する要望書提出
平成4年 (1992年)	2月 3月 全平日夜間貸出開始 (貸出室) 5月 岡町図書館改修工事完成・開館、コンピュータシステム導入 (4館オンライン開始)、世界のこどもの本の部屋設置 6月 8月 庄内図書館改装工事のため休館 (仮称) 東豊中図書館建設工事着工 9月 北摂3市 (吹田・箕面・豊中) 相互貸借巡回車制度開始 10月 (仮称) 庄内幸町図書館建設工事着工 絵本とおはなしについて出前講座開始 (現在の連続講座) 11月	「豊子連」が文庫支援、図書館サービスの向上、学校司書に関する要望書提出 「どうしても図書館が欲しい会」が (仮称) 千里図書館東豊中分館の備品購入に関する要望書提出 「暮らしの中に生きる図書館を望む会」が服部地区図書館設置に関する要望書提出 「どうしても図書館が欲しい会」が (仮称) 千里図書館東豊中分館の運営に関する要望書提出 「学校図書館を考え専任司書配置を願う市民の会」 (以下「市民の会」) 発足
平成5年 (1993年)	1月 「録音図書作成講座」実施 3月 庄内図書館内部改装工事完成 5月 図書館協議会「豊中市における図書館サービスのシステム化について」提言 6月 市内小・中学校への学校司書配置始まる (7月より団体貸出開始) 動く図書館を利用し学級文庫へ団体貸出開始 10月 「お話しボランティア養成講座」開始 (現在の子どもと本をつなぐボランティア講座) 11月 東豊中図書館・庄内幸町図書館が分館・分室として開館 (全館オンライン)	「どうしても図書館が欲しい会」が、図書館設置に関するお願い提出 音訳ボランティア『グループ・エコー』結成 「豊子連」が図書館網充実・図書館サービスに関する要望書提出
平成6年 (1994年)	1月 5月 図書館協議会「豊中市立図書館における児童サービスの在り方について」提言 9月 特別養護老人ホーム「豊中グリーンヒル」にて出前朗読会開始 (同時に団体貸出開始)	「豊子連」が館外・館内サービスの充実、全市図書館網の充実、学校図書館、病院図書室に関する要望書提出 おはなしボランティアグループ結成 (後「おはなしポケット」と命名)

	図書館のうごき	市民のとりくみ
	10月	「豊子連」が「豊中市立図書館における児童サービスの在り方について」の提言の実現に関する要望書提出
平成7年（1995年）	1月 震災被害のため、岡町6日、庄内3日、野畑1日、 3月 庄内幸町7日間臨時休館、他の館は即日開館 10月 50周年記念行事開催	「豊子連」が図書館網充実、図書館サービスに関する要望書提出
平成8年（1996年）	3月 『資料集・豊中の図書館50年』発行 12月 大阪府立図書館コンピュータシステム（OL-NET）へのオンライン検索開始 岡町図書館でCD貸出開始	「豊子連」が館外・館内サービスの充実、全市図書館網の充実、学校図書館、病院図書室、府の文庫活動費補助の存続に関する要望書提出
平成9年（1997年）	5月 図書館協議会「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について」提言 8月 千里図書館でCD貸出開始 11月 （仮称）服部図書館建設工事着工 12月 図書リサイクル制度発足	「豊子連」が図書館網充実・図書館サービスに関する要望書提出
平成10年（1998年）	2月 第1回個別リサイクルフェア開催 6月 動く図書館を利用した施設サービス開始（保育所1） 8月 東豊中図書館でCD貸出開始 12月 （仮称）高川図書館建設工事着工	「豊子連」が図書費増額、BM存続、館外・館内サービス、病院図書室、学校図書館、'94提言の達成状況に関する要望書提出
平成11年（1999年）	1月 服部図書館が岡町図書館の分館として開館 4月 行財政改革第1期実施計画に伴い、岡町図書館管理係が企画管理係に名称変更、庄内、千里、野畑図書館の係を廃止	「豊子連」が図書費増額、BM存続、館外・館内サービス、病院図書室、学校図書館、'94提言の達成状況に関する要望書提出
平成12年（2000年）	4月 資料の選書及び整理作業を集中化（岡町、野畑図書館の2館が担当） 6月 高川図書館が庄内図書館の分館として開館	「豊子連」「市民の会」蛍池図書館について要望書提出
平成13年（2001年）	1月 行財政改革第1期実施計画に伴い、動く図書館事業縮小（図書館車1台、ステーション数44→22） 3月 多言語版利用案内作成 4月 デイジー図書およびプレクストークの貸出開始 市立図書館のホームページ開設、インターネットでの蔵書検索が可能になる 図書館間の本格的な物流システム開始（8館間を1日2回運行、原則として月曜日を除く週6日） 5月 市立図書館学校図書館間資料運搬システム開始 6月 図書館協議会「豊中市立図書館における多文化サービスのあり方について」意見書 11月 インターネットによる団体向け蔵書検索サービスの開始	「豊子連」結成30周年を迎える 「豊子連」30周年記念講演会開催
平成14年（2002年）	2月 4月 「子どもの読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰受賞（岡町図書館） 6月 図書館協議会「豊中市立図書館における広域利用について」意見書 12月	「豊子連」が文庫支援及び子ども読書活動推進計画の策定に関する要望書提出 「豊子連」が「すべての子どもたちに読書のよるこびを―豊中子ども文庫連絡会30年の記録―」を発行 「豊子連」が文庫支援及び図書館サービス、蛍池図書館・市政図書室設置、子ども読書活動推進計画の策定に関する要望書提出
平成15年（2003年）	3月 ほたる図書室閉室 4月 岡町図書館館内奉仕係、館外奉仕係はそれぞれ館内サービス係、館外サービス係に名称変更 図書館コンピュータシステム大規模リプレイス資料の選書及び整理作業を野畑図書館に集中化 5月 蛍池図書館が野畑図書館の分館として開館。同時に箕面市立萱野南図書館と広域利用サービスの試行実施(平成15年5月6日～平成17年3月末)	「市民の会」要望書提出

	図書館のうごき	市民のとりくみ
平成15年（2003年）	5月 蛭池図書館開館に伴い、動く図書館ステーション数削減（ステーション数22→18） 7月 「豊中市子ども読書活動推進計画策定検討会議」設置（平成17年10月廃止） 8月 9月 インターネットによる個人利用者向け予約受付サービスの開始 10月 「えほんはじめまして」（4か月児健診を活用した乳幼児サービス）の試行実施 12月	「地球ママくらぶ」が「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」を協働提案 「豊中図書館の未来を考える会」が「千里のまちにふさわしい図書館構想をつくる一人と情報、人と人を繋ぐ図書館ー」を協働提案 「豊子連」が文庫支援及び図書館サービス、市立豊中病院図書室、子ども読書活動推進計画の策定、市政図書室設置に関する要望書提出
平成16年（2004年）	4月 動く図書館を利用した施設サービス11ヶ所になる（保育所6、養護学校（現在の支援学校）2、留守家庭児童会1、障害児通園施設2） 5月 「豊中市子ども読書活動推進計画策定委員会」設置 6月 図書館協議会「子ども読書活動推進について」意見集約 11月	「豊中図書館の未来を考える会」発足 「豊子連」が文庫支援及び図書館サービス、市立豊中病院図書室、千里図書館建替、市政図書室設置に関する要望書提出
平成17年（2005年）	1月 利用者カードに有効期間（5年間）を設け、登録更新開始 3月 図書館協議会「これからの豊中市立図書館の運営の在り方について」提言 「豊中市子ども読書活動推進計画」策定 4月 協働事業提案制度「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」の検討開始 蛭池図書館と箕面市立萱野南図書館との広域利用サービスの試行延長（平成20年3月末まで） 7月 「しょうないモデル事業実行委員会」（愛称「しょうないREK」）立ち上げる 9月 「新しい千里図書館・公民館のあり方を考える市民井戸端会議（仮称）」設置（10月に「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」と改称） 10月 「豊中市子ども読書活動推進会議」設置 11月 60周年記念行事開催 12月	「豊中図書館の未来を考える会」要望書提出 「豊子連」が文庫支援及び市民との協働、図書館サービス、市立豊中病院図書室、千里図書館建替、市政図書室設置に関する要望書提出
平成18年（2006年）	6月 「平成17年度（2005年度）豊中市新千里図書館・公民館創造会議中間報告書」発表 8月 「豊中市子ども読書活動推進計画実施計画」策定 大阪府北部豪雨のため岡町図書館臨時休館 9月 開館日の変更 市政施行70周年記念 文字・活字文化振興事業「とよ読書会」500回記念講演会開催 10月 千里図書館（新千里文化センター（仮称））建設工事着工 11月 「豊中市子ども読書活動推進連絡協議会」設置	「豊中図書館の未来を考える会」が図書館活動改訂に関する要望書提出
平成19年（2007年）	3月 箕面市との広域利用サービスの試行実施の延長と拡大（試行期間：平成19年3月15日～平成21年3月31日、対象館：豊中市立蛭池・千里図書館、箕面市立萱野南・西南図書館） 高川図書館にてビデオ貸出開始 6月 図書館協議会「豊中市立図書館における評価のあり方について」提言 10月 「しょうないモデル事業実行委員会」が「しょうないREK」に改称 12月 「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」最終提言	「豊子連」が子ども読書活動推進に関する要望書提出 「豊中図書館の未来を考える会」が子ども読書支援事業に関する要望書提出
平成20年（2008年）	2月 千里図書館が千里文化センターコラボ内にオープン 3月 おそね図書室閉室 7月 しばはら図書室閉室	